

# 触れる・試せる展示

## 昨年上回る来場者で賑わう

エコー流通グループ株式会社(一ノ瀬社長、東京)は、11月12日に大阪・天満橋のOMMビルで、「売り方・見せ方・伝え方の提案」をテーマに、「2024エコー関西ステーションリー&ビジネスフェア」を開催、前年を上回る21



挨拶する一ノ瀬社長



盛況の会場

を行い、一ノ瀬社長は「1月の春の大見本市では脳の活性化につながる『書くこと』と描くことの大切さ」を9月の秋の大見本市では「画材・作品・購買アップ」をテーマに出展者横断の共同プロモーションを実施した。フェアのテーマに掲げた「売り方・見せ方・伝え方の提案」に沿って、納品事例を掲載したチラシ配布や触れて試せる商品展示を企画した。「売り方・見せ方・伝え方」のヒントを数多く提供して、販売店の営業力と販路強化に資することが商談会のあるべき姿だと思う。互いに有意義な時間となるよう尽力を願う」と挨拶。

続いて、出展社を代表して、クワフ・寺浦浩之社長が「今年は災害、スポーツ、政治面でもまさかと思う出来事が続いている。まさかの売上が達成できる成果を上げたい」と挨拶。樋口聡フェア実行委員長(新東光通商代表取締役社長)は「販売店に気づきを与える手法を伝えたい。売上にこだわり、内容、数字すべてにおいて価値のあるフェア」と見本市への意気込みを伝え、一本締めで開場した。

会場には79社新規15社が出展、パーソナル向けの文具・雑貨からオフィス・事業所向けの商材まで幅広く展示。新規出展社、防災・

工事がみられる」の3点。今回も多くの販売店がテーマに沿って工夫を凝らした売り場を展開。Pentel Artsの想いを伝えたい。OMPASS yonago R431店(北海道札幌市、アートブラッシュ賞は、PEN、s ch i(岡崎市、サン・味岡西尾店(西尾市、石丸文行堂本店(長崎市、大丸藤井セントラル(北海道札幌市)特別賞は、丸善京都本店(京都市、かがし屋中津店(中津市)。

このほか、エリア賞店舗、入賞50店舗。

「春の大見本市」は1月17、18日、東京流通センター、エコー見本市西日本」は5月20日、「エコー関西ステーションリー&ビジネスフェア」は11月11日、大阪OMMビルで、それぞれ開催予定。

名札の紐の色を店頭と納品別に色分けし、出展社が容易に来場者を識別して商談できるようにした。

「春の大見本市」は1月17、18日、東京流通センター、エコー見本市西日本」は5月20日、「エコー関西ステーションリー&ビジネスフェア」は11月11日、大阪OMMビルで、それぞれ開催予定。

# 表彰店舗を発表

べんてる Arts 店頭陳列コンテスト グランプリ COMPASS米子店



グランプリ受賞店陳列

べんてる株式会社(和田優社長、東京都)は、第2回「Pentel Arts」店頭陳列コンテスト(実施期間8月20日~11月10日)の

表彰店舗を発表した。全国から応募のあった174店舗の中から、グランプリにはニッケン文具の「COMPASS yonago R431店」(鳥取県米子市)が輝いた。

同コンテストは、Pentel Arts(製品の垣根を越えて書く・描くこと)とその価値を広めていく活動の「手描きを贈ろう」というコンセプトへの共感と共に、手書き

手描きの楽しさを店頭から消費者に伝えてもらおうと昨年からの実施。

審査のポイントは、陳列のボリュームに関わらず、「Pentel Arts」のコンセプトに則って「お客様が『書(描)いてみたい』『書(描)る売り場になっている』『手書き・手描きの装飾に創意

このほか、エリア賞店舗、入賞50店舗。

このほか、エリア賞店舗、入賞50店舗。

このほか、エリア賞店舗、入賞50店舗。

このほか、エリア賞店舗、入賞50店舗。

# キャラクターベスト10

令和6年12月15日現在



- 1 ちいかわ (サンスター文具)
- 2 ミッフィー (スクエア)
- 3 スヌーピー (カミオジャパン)
- 4 パンどろぼう (サンスター文具)
- 5 すみっこぐらし (サンエックス)
- 6 シュガーココム (サンエックス)
- 7 カービィ (カミオジャパン)
- 8 scootystudio (フロンティア)
- 9 シナモロール (クラックス)
- 10 ムーミン (サンスター文具)

# 筆記具 BEST 10



- 1 モノグラフ10周年 (S) 630円 (トンボ鉛筆)
- 2 JストリームxKarimoku多機能ペン (B) 3300円 (三菱鉛筆)
- 3 オレンジATデュアルグリップ (S) 2000円 (べんてる)
- 4 ユニアルファゲルスイッチ (S) 1000円 (三菱鉛筆)
- 5 プレンICねこの毛色 (B) 180円 (ゼブラ)
- 6 JETSTREAM Lite touch ink (B) 200円 (三菱鉛筆)
- 7 リント (S) 450円 (ゼブラ)
- 8 ライティップ (万) 2500円 (パイロット)
- 9 ジュースネオンカラー (B) 120円 (パイロット)
- 10 ジョインドッツ (CM) 540円 (デザインフィル)

注:B=ボールペン、S=シャープペンシル、Cu=カスタマイズ型、CM=カラーマーカー・マーカー類

◆MDS関西支店調べ◆

# 推し活グッズ展など

## ライフスタイルウィーク関西

RX Japan株式会社は、9月25~27日の3日間、大阪市住之江区のイ

このうち、大阪で初開催の「推し活グッズEXPO」は、インバウンド向けグッズ

「推し活」の市場は8455億円。近年若者を中心に流行している「推し活」は、中高年層にも広がりを見せており、日常で使えるさりげない推し活グッズも増えてきている。

「推し活」の市場は8455億円。近年若者を中心に流行している「推し活」は、中高年層にも広がりを見せており、日常で使えるさりげない推し活グッズも増えてきている。

「推し活」の市場は8455億円。近年若者を中心に流行している「推し活」は、中高年層にも広がりを見せており、日常で使えるさりげない推し活グッズも増えてきている。

# 10月より本格的な活動を開始

## 〇：表現革新振興財団

三菱鉛筆株式会社(数原滋彦社長、東京都)は、今年4月に一般財団法人表現革新振興財団(数原滋彦代表理事)を設立し、10月より本格的に活動を開始した。

同財団の目的は、ユニークな表現や個性を引き出す技術の研究・開発や、表現の楽しさを追求する活動を支援し、多様な社会の活動に貢献すること。活動の第一歩として、岡山県真庭市が主催するアートプロジェクトに協賛し、同市内

のスケートボードパークにおいて日本最大規模の床面ミニチュラルアート制作を支援した。

同プロジェクトの完成披露イベントは、10月5日に久世河川敷で行われ、地元企業のマルシェや、SUI KO氏のトークセッションなどが催された。また、イベント会場の一角に設置された幅90cm×全長100mの超巨大お絵描き用紙「ドゥードゥルペーパー」

のスケートボードパークにおいて日本最大規模の床面ミニチュラルアート制作を支援した。

# 自然あふれる山から海を巡る旅

## 〇：大阪文交倶楽部

大阪文交倶楽部(志方弘嗣代表世話人)による、令和6年秋の日帰り旅行が、11月15日に神戸方面で「自然あふれる山から海を巡る旅」をテーマに開催した。

当日は39人が参加し、谷6を観光バスで分乗して出発。豊かな自然あふれる六甲山・摩耶山で四季折々の自然に触れ、六甲ガーデンでは、神戸港を背景に記念撮



六甲山での記念撮影

# オーイスタジオを会場に開催

## 〇：株式会社日本能率協会

株式会社日本能率協会(張士空社長、東京都)は、三菱鉛筆が東京・大井町に今年2月に開設した表現体験型空間「O-I STUDIO」(オーイスタジオ)を会場に、2025年1月始まり手帳全298アイテムに触れて、その書き心地を存分に体験することができる展示会「NOLTY書いて、さわれる展」を、10月25、26日に開催した。

会場には2025年版NOLTY手帳、全298アイテムが一堂に集結。参加者が実際に手帳に試し書きができる企画が好評。「紙の質感や特性については、実際に書いてみないとその良さを完全には伝えることが難しい。『書くこと』という行為は、様々な要素が関与しているため、その奥深さははかり知れない」という。

# 12月に福岡、来年2月に岡山で

## 〇：紙博

手紙社が主催する紙もの雑貨の即売イベント「紙博(かみはく)」が9月の東京に続いて、12月21、22日に「紙博 in 福岡 vol.3」(福岡市博多の南近代ビル)、来年2月1、2日に「紙博 in 岡山」(コンパックス岡山スカットホール)が開催。福岡は約5年振りの開催、岡山は初開催となる。

出店社数は福岡が67組、岡山が80組(予定)。入場料金は前売り券(特典ノード付き)1000円、当日券(終日販売)1200円。9月に東京・浅草で開催された「紙博 in 東京 vol.1.9」は3日間で約15000人が来場した。